

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	専門演習 II		
担当者(Instructors)	新實 広記	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

この授業では、造形的な活動や教材のプログラムを制作する。教材とは『教育的なねらいを達成させるための文化的な素材』である。その目的と内容を子どもに即したプログラムに置き換え、子どもたちをいきいきとさせ、保育を豊かにし、その可能性をひらくことができる教材づくりを研究する。

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習形式で行う。ディスカッションおよびグループワークを取り入れ、子どもの造形、図画工作の意義を議論、研究する。

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	オリエンテーション (授業説明、注意事項)	<input type="checkbox"/>
第2回	教材研究 (研究題材の設定)	興味のある造形教材に関連した研究題材の設定を行う。	<input type="checkbox"/>
第3回	教材研究 (研究題材の設定と面談)	面談を行い興味のある造形教材に関連した研究題材の設定を確認する。	<input type="checkbox"/>
第4回	教材研究 (資料収集関連図書)	造形教材の研究に関する図書資料を収集する。	<input type="checkbox"/>
第5回	教材研究 (資料収集関連記事)	造形教材の研究に関する記事資料を収集する。	<input type="checkbox"/>
第6回	教材研究 (資料収集関連論文)	造形教材の研究に関する論文資料を収集する。	<input type="checkbox"/>
第7回	資料収集の中間発表	5週に渡って行ってきた、面談、資料収集から各自の教材研究の題材を見つけその内容を発表する。	<input type="checkbox"/>
第8回	教材研究 (実践研究と計画)	各自の教材研究の題材テーマに沿って調査、研究を行い実践研究の計画を行う。	<input type="checkbox"/>
第9回	教材研究 (実践研究とレポート制作)	各自の教材研究の題材テーマに沿って調査、研究を行いレポートの作成や実践研究を行う。	<input type="checkbox"/>
第10回	教材研究 (実践研究と面談)	各自の教材研究の題材テーマに沿って調査、研究を行い面談や実践研究を行う。	<input type="checkbox"/>
第11回	教材研究 (実践研究)	各自の教材研究の題材テーマに沿って調査、研究を行い実践研究を行う。	<input type="checkbox"/>
第12回	教材研究 (グループディスカッション)	各自の教材研究の題材テーマに沿って調査、研究を行いその結果をグループディスカッションする。	<input type="checkbox"/>
第13回	研究発表の準備	これまでの研究の成果をレポートもしくは制作物で発表するための準備を行う。	<input type="checkbox"/>
第14回	研究発表	これまでの研究の成果をレポートもしくは制作物で発表し、質疑応答に答える。	<input type="checkbox"/>
第15回	まとめ	教材研究の発表の成果を踏まえ反省点や良かった点を話し合いレポートにまとめる。	<input type="checkbox"/>

## ■授業時間外学習 (予習・復習) の内容(Preparation/review details)

これまでの調査・研究の成果をレポートもしくは制作物で示せるように準備しておく。(2時間) 授業内の面談を通して気づいた新たな研究課題を再調査する。(2時間)

## ■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

研究成果を報告するためのレポート課題を実施する。レポートの内容を確認後、より研究を深められるような自主学習の方法の提案や資料を提供する。

■授業の到達目標と評価基準 (Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019子ども発達DP1	自らの研究課題を整理して調査、実践研究を探究心をもって取り組むことができるか。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	小学校教員・幼稚園教員・保育士になるための表現力、知識、能力を主体的に身につけ工夫して指導することができるか。
主体性	◆ 2019子ども発達DP3	現代の保育、教育現場における様々な課題に向き合い、創造的に解決に取り組むことができるか。

■成績評価 (Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

演習で取り組んだ研究のプレゼン発表を行う。

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN (ISBN)
1	授業の中で、必要に応じて紹介	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN (ISBN)
1	授業の中で、必要に応じて紹介	
2		
3		
4		
5		